

日本史 B

1

次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

古来人々は怨霊をおそれ、天災や厄災は怨霊によるものと考えていた。怨霊という言葉は、長屋王の時から用いられたと言われている。1 聖武天皇は長屋王を重用していた。しかし、武智麻呂・宇合・房前・麻呂の藤原四兄弟は729年に策謀によって、長屋王を自害させて、血縁関係にある光明子を皇后に立てることに成功する。しかし、737年に流行した疫病によって、四兄弟は相次いで2 病死し、人々は長屋王の怨霊によるものと考えた。聖武天皇の時にはまた、政権の実力者であった玄昉と吉備真備の排斥を求めて、3 ()が大宰府で反乱を起こすものの、敗死した。玄昉の急死の際には、3 ()の怨霊によるものとの噂が広まった。

桓武天皇の時、4 都の造営を指揮していた藤原種継が暗殺される事件が起きた。この首謀者として、桓武天皇の実弟である早良親王は淡路に流刑となった。早良親王の死後、疫病が流行し桓武天皇の夫人、生母、后が相次いで亡くなり、皇太子も病気になる。さらには5 東北では反乱も起き、都も一向に完成することがなかったため、この都の造営を中止し、再遷都した。これらについては、早良親王の祟りであるとされた。

平安時代における怨霊の中で最大の存在が6 菅原道真である。藤原専制体制が固まりつつある中で、宇多天皇は道真を重んじた。醍醐天皇の時になると、道真は右大臣にまで昇進した。しかし、藤原時平等の密謀により大宰権帥に左遷される。道真は帰京することなく、大宰府で死去した。7 道真の死後、怨霊の噂が出始める。疫病が蔓延し、左遷に関与した人物も相次ぎ死去した。930年、清涼殿に落雷があり、多くの死者を出した。醍醐天皇も気を病み同年に死去している。間もなくして、8 藤原純友・平将門による乱、すなわち承平・天慶の乱もあり、これも道真の怨霊と結びつけられて考えられた。

中世における最大の怨霊とされるのが、崇徳上皇である。崇徳上皇は9 後白河天皇との対立から勃発した乱に敗北し、讃岐国に流されこの地で死去した。その十数年後、後白河法皇と平清盛との対立が顕在化し、鹿ヶ谷の陰謀、源平の争乱、清盛の死も崇徳上皇の怨霊によるものとされた。

こうした怨霊の恐怖に対して、人々は怨霊慰撫を繰り返した。怨霊をなぐさめる祭事の一つとして10 御霊会がある。また、菅原道真のように怨霊が神として祭り上げられることがあった。さらには、怨霊のみならず11 時の権力者が死後、神として祭られることがあった。江戸時代には12 儒教と結びつき人と神の一体性を強調する神道もあらわれた。

問1 聖武天皇の時に行われた事項で誤っているものを下から選び、記号で選びなさい。

- ア. 墾田永年私財法を制定した。
- イ. 大津宮・藤原京に都を移した。
- ウ. 各国に国分寺を建立した。
- エ. 大仏造立の詔を出した。



- 問2 この時の死因として適切な病名を下から選び、記号で答えなさい。
ア. 天然痘 イ. コレラ ウ. ペスト エ. 結核
- 問3 この人物を下から選び、記号で答えなさい。
ア. 藤原広嗣 イ. 橘奈良麻呂 ウ. 恵美押勝 エ. 淳仁天皇
- 問4 この都を答えなさい。
- 問5 この時期の東北の反乱に際して、征夷大將軍に任命された人物を答えなさい。
- 問6 菅原道真が六国史をもとに編纂した書物を下から選び、記号で答えなさい。
ア. 経国集 イ. 続日本紀 ウ. 類聚国史 エ. 日本後紀
- 問7 菅原道真の怨霊伝承について描かれた絵巻物を下から選び、記号で答えなさい。
ア. 北野天神縁起絵巻 イ. 信貴山縁起絵巻 ウ. 春日権現験記絵巻 エ. 山王靈験記絵巻
- 問8 この乱の際、平将門は自らを何と称していたか。漢字2文字で答えなさい。
- 問9 この乱を答えなさい。
- 問10 この読みをひらがなで答えなさい。
- 問11 これに関連して、時の権力者とその人物が祭られている神社の組み合わせで正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
ア. 平清盛－厳島神社 イ. 源頼朝－鶴岡八幡宮
ウ. 織田信長－熱田神宮 エ. 徳川家康－日光東照宮
- 問12 この神道を下から選び、記号で答えなさい。
ア. 伊勢神道 イ. 両部神道 ウ. 吉田神道 エ. 復古神道 オ. 垂加神道



2

次の文を読み、下記の間で答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

17世紀¹の後半になると、江戸幕府による政治は比較的安定してきた。これは、このころまでに、幕府機構¹の整備が完成したことに起因するところが大きい。

幕府の主要な役職には、老中²、若年寄³、大目付、目付や三奉行などがあり、原則として複数名の譜代大名や旗本らがそれぞれの任に就くこととなっていた⁴。また、領域のまたがる事案などについては、老中と三奉行⁵などで構成される ⁶ で採決するなど、特定の者に権力が集中しないよう配慮がなされていた。

4代将軍家綱⁷は、わずか11歳で将軍となったが、その際にも、安定した幕府機構や優秀な側近⁸の補佐により、社会秩序の安定が保たれた。しかし、そのようななかでも、政治課題がなかったわけではなく、牢人⁹や「かぶき者」¹⁰らへの対策は、重要な課題であった。

問1 17世紀におこった次に挙げる出来事を、古い順に並べたものとして最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 糸割符制度の創設 → ポルトガル船の来航を禁止 → 奉書船制度の開始 → スペイン船の来航を禁止
- イ. 糸割符制度の創設 → スペイン船の来航を禁止 → 奉書船制度の開始 → ポルトガル船の来航を禁止
- ウ. ポルトガル船の来航を禁止 → 糸割符制度の創設 → スペイン船の来航を禁止 → 奉書船制度の開始
- エ. スペイン船の来航を禁止 → ポルトガル船の来航を禁止 → 奉書船制度の開始 → 糸割符制度の創設
- オ. スペイン船の来航を禁止 → 糸割符制度の創設 → ポルトガル船の来航を禁止 → 奉書船制度の開始

問2 江戸幕府の役職には、「大老」と呼ばれるものもあったが、次の人物のうち、大老の職に就いたものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 松平定信 イ. 安藤信正 ウ. 田沼意次 エ. 堀田正俊 オ. 田沼意知

問3 次の人物のうち老中であったものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 島津斉彬 イ. 徳川斉昭 ウ. 前田綱紀 エ. 伊達綱村 オ. 水野忠邦

問4 若年寄の主な職務として適切でないものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 老中を補佐した。
- イ. 目付を指揮した。
- ウ. 旗本を監督した。
- エ. 郡代を指揮した。

問5 このように、複数名が一つの役職に就き、代わる代わる職務にあたる制度を何というか答えなさい。

問6 三奉行について述べた次の文のうち、最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 三奉行は同格の格式を持つ役職であり、それぞれ、旗本から任命された。

イ. 寺社奉行の職務には、寺社や寺社領の管理や宗教統制、朝廷の監察などがあつた。

ウ. 町奉行は、江戸を東西南北の四つに分けて、それぞれを東町奉行、西町奉行、南町奉行、北町奉行が管轄とした。

エ. 勘定奉行は、初め勘定頭と呼ばれ、幕領の租税徴収や訴訟の取り扱いなどを担当した。

問7 にあてはまる語句を答えなさい。

問8 この人物は、将軍の権威を確認するため、1664年に、諸大名に対していっせいに を発給した。

にあてはまる語句を答えなさい。

問9 下線部9に関連する次の問に答えなさい。

(1) 側近のうち一人、 は、3代将軍家光の異母弟であり、会津藩主でもあつた。 にあてはまる人物名を答えなさい。

(2) (1)の人物は朱子学を信奉したが、この朱子学の思想の基礎となる君臣道德論を何というか。

(3) 朱子学は の朱熹によって大成された。 にあてはまる国名として最も適切なものを下から選び、記号で答えなさい。

ア. 清 イ. 明 ウ. 宋 エ. 元 オ. 漢

問10 下線部10に関連する次の問に答えなさい。

(1) 1651年に、牢人丸橋忠弥が駿河生まれの兵学者らと企てた、幕府転覆未遂事件を何というか。

(2) (1)の事件の後、大名の の禁止は、牢人の増加を防ぐことを目的の一つとして大幅に緩和された。 にあてはまる語句を答えなさい。



3 次の年表は、日本と中国の関係に関するものである。この年表に関する下記の問題に答えなさい。なお、問11を除き、下線部と問の番号は対応している。

- 1871年 1 日清修好条規が締結される
1874年 台湾出兵
1876年 2 日朝修好条規が締結される
1894年 3 日清戦争が始まる
1904年 4 日露戦争が始まる
1911年 (a) 革命
1912年 5 中華民国が成立
1914年 6 第1次世界大戦が始まる
1915年 日本、中華民国政府に対して7 21カ条の要求を行う
1917年 日米、中国問題について共同宣言 (石井・ランシング協定)
1919年 ヴェルサイユ条約が締結される
1921年 8 ワシントン会議が始まる
1927年 9 山東出兵が始まる
1928年 張作霖爆殺事件
1931年 満州事変が始まる
1932年 10 満州国建国宣言
1937年 日中戦争が始まる
1945年 終戦

問1 この条約を清国代表として締結した人物で、洋務運動を推進した漢人官僚の名前を答えなさい。ちなみにこの人物は、清国全権として下関条約に調印した人物でもある。

問2 (1) この条約に関する説明として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. この条約で、日本は朝鮮を「自主ノ邦ニシテ日本国ト平等ノ権ヲ保有セリ」と定め、中国の朝鮮に対する宗主権を否定しようとした。
- イ. この条約締結後、朝鮮は釜山・仁川・元山の三港を開港した。
- ウ. この条約締結後、朝鮮では閔氏一族が実権を握り、壬午軍乱の結果、親露政策に転換するまで親清政策をとった。
- エ. この条約は、江華島事件を機に締結された日朝間の最初の通商条約である。
- オ. この条約は、不平等条約であった。



(2) これ以降、日清戦争開戦まで、日清両国は朝鮮半島をめぐる対立を深めていった。その経過として正しいものを下から選び記号で答えなさい。

- ア. 甲申事変－甲午農民戦争－天津条約－壬午軍乱
- イ. 壬午軍乱－甲申事変－天津条約－甲午農民戦争
- ウ. 甲午農民戦争－甲申事変－天津条約－壬午軍乱
- エ. 甲申事変－天津条約－壬午軍乱－甲午農民戦争
- オ. 壬午軍乱－天津条約－甲午農民戦争－甲申事変
- カ. 甲午農民戦争－壬午軍乱－天津条約－甲申事変

問3 (1) この戦争の講和条約である下関条約の内容として誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 清国は朝鮮の独立を認める。
- イ. 清国は日本に遼東半島を割譲する。
- ウ. 清国は日本に澎湖諸島と台湾を割譲する。
- エ. 清国は日本に2億両の賠償金を支払う。
- オ. 清国は日本の領事裁判権と協定関税の導入を認める。

(2) これ以降、日露戦争へといたる経過として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。

- ア. 義和団事件－ロシアの大連・旅順租借－ロシアの満州占領－北清事変
- イ. ロシアの大連・旅順租借－義和団事件－北清事変－ロシアの満州占領
- ウ. 義和団事件－北清事変－ロシアの満州占領－ロシアの大連・旅順租借
- エ. 義和団事件－ロシアの大連・旅順租借－北清事変－ロシアの満州占領
- オ. ロシアの満州占領－ロシアの大連・旅順租借－義和団事件－北清事変
- カ. ロシアの満州占領－義和団事件－北清事変－ロシアの大連・旅順租借

問4 この戦争の講和条約であるポーツマス条約で、日本が清の承認を経てロシアから譲渡された権益のうち、旅順・大連を含む遼東半島南端の租借地を何と呼ぶか答えなさい。

問5 中華民国の初代臨時大総統となった人物を下から選び記号で答えなさい。

- ア. 袁世凱
- イ. 宋教仁
- ウ. 段祺瑞
- エ. 孫文
- オ. 蔣介石

問6 大戦を機に、日本の紡績資本が中国各地に建設した紡績工場を何と呼ぶか、答えなさい。



- 問7 この要求のうち、中国が承認しなかった内容を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 南満洲・内モンゴル権益の99カ年延長と鉄道敷設権
 - イ. 中国政府の顧問として日本人を雇用すること
 - ウ. 漢冶萍公司を日中の合弁事業とすること
 - エ. 山東省ドイツ権益の譲渡
 - オ. 福建省を外国に渡さず、日本の勢力圏とすること
- 問8 列強の租借地のうち、第一次世界大戦で日本が占領し、この会議における九カ国条約で中国に返還したドイツの租借地を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 膠州湾 イ. 九竜半島 ウ. 遼東半島 エ. 広州湾 オ. 威海衛
- 問9 この出兵に関する説明で誤っているものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. この出兵の過程で、国民革命軍と日本軍が衝突する済南事件が起きた。
 - イ. この出兵は、国民革命軍の北伐に対し、在留日本人の生命・財産の保護を口実に行われた。
 - ウ. この出兵は、三度にわたった。
 - エ. この出兵によって、国民革命軍による中国統一は失敗に終わった。
 - オ. この出兵を行ったのは、田中義一内閣であった。
- 問10 これ以降、日中戦争へといたる経過として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 日満議定書－塘沽停戦協定－華北分離工作－西安事件
 - イ. 塘沽停戦協定－華北分離工作－日満議定書－西安事件
 - ウ. 塘沽停戦協定－西安事件－日満議定書－華北分離工作
 - エ. 塘沽停戦協定－日満議定書－西安事件－華北分離工作
 - オ. 日満議定書－西安事件－塘沽停戦協定－華北分離工作
 - カ. 日満議定書－華北分離工作－塘沽停戦協定－西安事件
- 問11 空欄 a に適語を入れなさい。

4 次の文を読み、下記の問に答えなさい。なお、下線部と問の番号は対応している。

¹ 判官ヒツツという言葉の語源であることから分かるように、源義経は昔から多くの人に愛された人物である。それゆえ、彼に関する様々な伝説が存在する。

源義朝の九男として生まれた義経は、² 父の敗死に伴い捕らえられるが、許され鞍馬寺に預けられた。後に高祖父³と藤原清衡との関係が深かったこともあり、平泉に向かい、そこで過ごすことになる。その後、兄・頼朝の挙兵を聞いて馳せ参じた義経は一ノ谷・屋島・壇ノ浦の戦いで平家との戦いに勝利するが、兄の不興を買い平泉に戻る。しかし、庇護者である藤原秀衡が死去すると、頼朝の圧力に抗しきれなかった藤原泰衡の攻撃を受け、自害した。

⁴ 『吾妻鏡』や『平家物語』が義経の活躍を描いていることもあり、義経の人気は死後高まっていく。特に、『平家物語』や『義経記』は琵琶法師の語りや判官物を通じて、各地で義経のイメージと評価を高める役割を果たした。

江戸時代に入ると義経渡海説は広まっていった。『続本朝通鑑』や『大日本史』、⁵ 『読史余論』では、あくまでも俗説としてではあるが、同説が紹介されている。さらに、⁶ 松前藩のアイヌへの関与が深まると庶民の間でも義経の渡海説が広まっていった。⁷ 田沼意次が蝦夷地開発を進めると多くの民間人が蝦夷地に渡ったが、そのうち⁸ 近藤重蔵はアイヌの守護神が降臨した地を義経の館と理解し、そこに義経神社を建立した。

⁹ 明治に入っても北海道と義経の関係は日本人の印象に残ったようである。政府は蝦夷地を北海道と改称し開拓使を設置するなど北方開発を進めたが、導入された機関車の名に義経や弁慶の名がつけられている。

義経伝説の飛躍は北海道にとどまらない。義経が¹⁰ 金で活躍したとする説や、清の祖となったとする説に加え、現在でも俗説として知られる義経＝チンギス・ハン説も古くから存在する。同説の論証を試みた一人が¹¹ シーボルトであり、大島高任や¹² 西周などの洋学者に対し、同説を主張した記録が残っている。そして、義経＝チンギス・ハン説は現在に至るまで根強く残っている。それらは学術分野では強く否定されるものであったが、庶民の間では人気を博し続けているのである。

問1 判官とは律令官制で諸司の四等官のうちの第三等官を指すが、左右衛府の尉で、京中の警察・裁判などを担当した職種の宣旨を受けたものを指すこともある。この職種を下から選び、記号で答えなさい。

ア. 京都奉行 イ. 六波羅探題 ウ. 問注所別当 エ. 検非違使 オ. 刑部卿

問2 源義朝が平清盛らに敗れた乱の名を答えなさい。

問3 源義経の高祖父にあたり、陸奥守の立場で後三年合戦に介入し、内紛を制圧した人物の名を答えなさい。



- 問4 吾妻鏡の説明として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 慈円による、道理の理念によって歴史の展開と論理を叙述した歴史書である。
 - イ. 四鏡の一つであり、藤原為経によって書かれたとされる歴史書である。
 - ウ. 文徳天皇から後一条天皇までの出来事を記した歴史書である。
 - エ. 東国の武士を結集するために書かれたとされる、北畠親房による歴史書である。
 - オ. 源頼政挙兵から宗尊親王の帰洛までの出来事などを編年体で記した歴史書である。
- 問5 読史余論の著者を答えなさい。
- 問6 アイヌと松前藩に関わる事柄として正しいものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 松前氏は徳川家光の時よりアイヌとの交易独占権を保障され、藩制を敷いた。
 - イ. 松前藩とアイヌとの交易対象地域は六斎市と呼ばれた。
 - ウ. シャクシャインの戦いに敗れたアイヌは全面的に松前藩に服従することとなった。
 - エ. 江戸期を通じて、アイヌとの交易は松前藩士が独占しており、商人等は排除された。
 - オ. アイヌは差別の対象であり、藩主と相対することは許されなかった。
- 問7 田沼意次が行った政策と直接関係のないものを下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 堂島米市場をはじめて公認した。
 - イ. 朝鮮人参座を設置した。
 - ウ. 手賀沼の干拓工事を開始した。
 - エ. 南鐮二朱銀を大量鑄造した。
 - オ. 長崎貿易政策を転換させた。
- 問8 近藤重蔵が1798年7月に標柱を建てた島の名前を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 国後島 イ. 択捉島 ウ. 齒舞島 エ. 色丹島
- 問9 開拓使を廃しておかれた函館・札幌・根室の3県を統一して1886年に設けられた行政官庁を何というか、答えなさい。
- 問10 金王朝を建てた民族を下から選び、記号で答えなさい。
- ア. 漢民族 イ. モンゴル族 ウ. 女真族 エ. 朝鮮族 オ. ウイグル族
- 問11 シーボルトが長崎郊外に設けた診療所兼私塾の名を答えなさい。
- 問12 森有礼を中心に、西周や福沢諭吉ら洋学者が1873年に結成した結社の名を答えなさい。